



# 吉川小だより

10月号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和5年9月29日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



## 『運動会！笑顔・涙 大成功！』

暑かった9月も終わり、秋の気配がようやく漂ってきました。急に涼くなればそれはそれでも悲しい気分になりますが、暑いのはもうこりごりです。ただ、感染症もまだ治まっておらず、特に季節の変わり目、十分気をつけたいものですね。

さて、23日の運動会ではなんと100名を超える観客の中、天候にも恵まれ成功裡に終えることができました。大西自治会長さんをはじめ、ご来賓の方々をお招きし、和やかで一人一人にスポットがあたる吉川小ならではの運動会となりました。

徒競走の出発前には名前が呼ばれます。

「第1のコース、〇〇さん」とすると、「はい！はあ〜い！」と吉川っ子は手を挙げて



応えます。また運命走は、名前の通り自分が引き当てたコースが勝敗を左右します。PTA競技もとっても

楽しいボール運びリレーでした。思わぬ接戦で選手も応援も自然に熱くなっていました。子どもたちも1人5種目に出場し、どの競技も全力で頑張る姿はキラキラと輝いていました。

なかでも最後のリレーは、低・高学年ともに手に汗握る接戦の連続でした。ゴール



は、ほぼ同時となり大変見応えのある競技となりました。そして、リレーの後、負けたチームの中に涙している子どもの姿がありました。よっぽ

ど悔しかったのでしょうか。また、その子にやさしく声をかける子の姿もありました。本校の運動会は、団体競技は赤白で対戦しますが、点をつけず優勝、準優勝もありません。この人数では意味がないからです。負けた時にその原因探しになる可能性の方が高いのです。それでも友達と競い合い、

チームで協力し練習の成果を思う存分発揮した結果、やっぱり負けるということはとてもつらいことです。しかし、このような涙があふれるほどの経験がこの運動会でできたことは大きな財産になるでしょうし、次への意欲やステップにつながります。また、このようなことはいくらお膳立てしてもできるものではありません。やはり運動会ならではの、学校行事が生み出す優れた学



習機会だと改めて心地よく感じています。運動会に向けては、各ご家庭でも演技の練習を見てもらい、途中

励ましてもらい、また当日まで準備をしっかり整えていただき本当にありがとうございました。欠席もなく全員がそれぞれの力を発揮し、力を伸ばすことができました。

次は、吉川小フェスティバル(11/3)の準備を始めます。どんな、ドラマが待っているか今からとても楽しみです。

校長 藤田 哲也

## 『比護信子先生の陸上教室が実現！』

27日、吉川が誇る比護(藤村)先生に母校で陸上教室をお願いしました。現在も京都府スポーツ夢バンクに登録され府内の小学校でご指導されています。



比護信子先生 栄光の一部 1965年吉川町穴川生まれ

1994年 1月 大阪国際女子マラソン 第2位

2.26.09当時日本新記録(1位同タイム)

10月 アジア大会広島大会 第3位

1996年 11月 東京国際女子マラソン 優勝!

1997年 8月 世界陸上アテネ大会 第10位

(マラソン団体 金メダル!)

現在、中国で開催中の大会です!